

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-4
治安対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 地域課長 岸 哲夫 電話番号 0852-26-0110 (代)

事務事業の名称	街頭活動強化事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	交番の地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化し、住民の安心感と体感治安の向上を図る。
事業概要	交番（広域交番を除く県内15カ所）に交番相談員2人を配置することにより、交番における不在時間を解消するとともに、地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化して住民の安心感と体感治安の向上を図るもの。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	街頭活動時間	目標値	800.0	800.0	800.0	800.0	時間
	式・定義	交番勤務員一人当たりの街頭活動（パトロール+訪問）時間を1当務約30分増加して、年間800時間	取組目標値					
			実績値	774.5	767.5	793.0		
			達成率	-	96.0	99.2	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	70,703	73,836
うち一般財源 (千円)	70,703	73,836

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 現在、交番（広域交番を除く県内15カ所）に、交番相談員2人を配置している。
- 交番相談員の平成29年取扱件数は、相談受理件数1,434件、地理教示件数5,935件、遺失・拾得件数8,777件である。
- 平成30年4～7月中における交番勤務員1人当たりの街頭活動時間は、月約68時間で、昨年度年平均64時間と比較して約4時間増加した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 交番相談員を全交番に2人ずつ配置していることで、従来、警察官が行っていた相談対応や地理教示等の業務を交番相談員も行うため、警察官の所内事務の軽減、効率化が図られている。
- 交番相談員の運用により、交番勤務員をパトロール等の街頭活動に集中させることができるため、住民への安心感の提供につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、相談等対応する事案が増加し、それに伴う事案処理のための書類作成に時間を要し、街頭活動時間の確保が難しい状況にある。
- 交番勤務員の約4割が採用5年未満の若手警察官であり、書類作成等に時間を要している。

②困っている状況が発生している「原因」

- 捜査手続きの厳格化により、書類作成量が増加している。
- 地域警察官が取り扱う事案が多様化、複雑化している。
- 若手警察官の経験不足による実務能力が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- 交番相談員の効果的活用を図る。
- 若手警察官の早期戦力化を図る。
- 交番内での事務の合理化・効率化を更に推進する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 交番相談員の継続配置により、交番における不在時間の解消や地域警察官が行う事務を軽減する。
 - 交番相談員が持つ専門的知識の伝承教養等による若手警察官のスキルアップを図る。
 - 事務の合理化・効率化を更に推進する。
 - 若手警察官の実務能力の向上を図る。
- 上記取組により地域警察官の街頭活動時間を確保し、パトロールや訪問等街頭活動を強化する。